

こんな不当労働行為を許せるか

日刊 動労千葉

1988.4.6

No.2791

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七・二〇七

動労千葉の絶滅を狙った強制配転弾劾！

不当労働行為に對しては
ストを辞さずたたかおう

すべての組合員のみなさん！ JR当局・千葉支社は、四月四日、五日の両日にわたり、四〇名にも及ぶ仲間の強制配転を強行した。しかも、四〇名中三二名が動労千葉の組合員であり、ほとんどが役員・活動家である。われわれは、この強制配転を断じて許さない。われわれの怒りは頂点にたつているのだ。こうした強制配転、不当労働行為にはストライキも辞さずたたかいぬくことを明らかにする。

動労千葉への組織破壊攻撃
粉碎するぞ！

四月一日以降、JR当局は、動労千葉・国労の存在にせりかられ、本格的に組織破壊攻撃へと打って出てきた。今回の強制配転、さらには処分攻撃はその突破口である。われわれの不倶戴天の敵、車務課長・河野は、「動労千葉を切り崩すことが使命」と確信し、竹下・住田・松崎連合の忠実なる手先になっているのだ。「動労千葉を絶滅する」これが「JR一周年」の最大の目標である。

敵はあせっている

分割・民営化は、完全に失敗した。ふくれるばかりの清算事業団の借金。「黒字」など夢のまた夢でしかないJR、多発する事故、「一企業一組合」の破産はおおいかくすことはできない。新しい制服の下からは、すでにボロがでてきているのだ。

そして、最大の問題は、果敢にたたかう動労千葉と国労の旗を守りぬいている四万人の国労組合員の存在である。あらゆる手段を使っても、結局絶滅することができなかった。だからこそ、今一度革マル鉄道労連を手先に使い、不当労働行為も辞さず、自民党の全面的バックアップで動労千葉・国労破壊にのめりこもうというのだ。

もうこれ以上ガマンできない

今回の強制配転は、明らかに動労千葉の絶滅を狙った不当労働行為だ。四〇名中三二名が動労千葉の組合員であり、しかも組合役員を狙いうちに行っている。われわれはこの攻撃を逆手にとり、営業職場にたたかいを拡大していく決意である。「強制出向」不当労働行為にはストライキを辞さずたたかう方針に、いまこそみがきをかけて、全力でたたかいぬこう。JR当局・革マル鉄道労連の組織破壊を許さず、実力で反撃を！

かけて第一波指名ストに突入した。

JR西日本は、四月中旬にJR西日本一〇〇％出資の子会社を設立し、JR直営だった売店を飲食と物販の二つの子会社に吸収し、三千名の労働者を強制的に出向させようとしているのだ。

四月子会社設立と三千名の強制出向攻撃は大量首切りと組合つぶしを狙った攻撃に他ならない。

動労西日本は、四・一第一波ストから四・一八第二波ストへと決起する。

全力で支援すると同時に、動労千葉も西日本ストライキに続こう！

動労西日本が



動労西日本は、四月一日、大阪環状線野田駅「カレージョ」子会社設立阻止・強制出向阻止」をか



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！